

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表

(評価対象年度: 令和5年度)

<施設概要>

施設	武者小路実篤記念館
施設の設置目的	武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養及び文化の向上に寄与する
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日
指定管理者	一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
所管部署	教育部 郷土博物館

<施設所管部署における全体総括>

令和5年度は、記念館内の設備改修のため、2か月弱の臨時休館を行ったが、2回の特別展と4回の企画展の展示事業を実施した。また、講座・講演会やワークショップなど鑑賞から参加型まで様々な形で幅広い世代に向け良質な普及事業を実施した。中でも講座・講演会については、コロナ禍以降、対面に加えてオンライン配信を活用するなど、参加者の拡大に取り組んでいる。学校との連携においては、動画教材の提供を行い、近隣学童クラブとの連携においてはプログラムを実施するなど活動が進展した。地域との連携においては、せんがわ地区の事業へ参加し、実篤記念館への認知度を高め、新しい利用者を獲得している。これらは、これまでの学校・地域との連携事業への取組の成果として評価できる。

施設の維持管理については、開館から38年が経過し、施設・設備の経年劣化が進む中、市の実施する修繕への協力のほか、適宜、適切な修繕を行っている。施設が安全で良好な状態を保つことができるよう日常管理に努めた結果であり、適切な管理運営が行われていることは評価できる。

コロナ禍により中止していた事業を再開し、様々な創意工夫や利用者の利便性の向上に取り組み、学校連携や文化・芸術の場として魅力ある事業の提供に努めたことは評価できる。今後も安定した財団運営や事業の実施とともに新たな利用者を獲得できる魅力的な事業展開を期待する。

総合評価	A
------	---

総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

<係数> s→10 a→8 b→6 c→4 d→2
--

各視点に基づく評価の
係数合計を算出

<総合評価基準> S(特に優れている) →42 ~ 44(かつ各視点でc評価が無い) A(優れている) →36 ~ 41(かつ各視点でd評価が無い) B(良好) →26 ~ 35 C(要改善) →16 ~ 27 D(要抜本的見直し) →10 ~ 15

<施設の過去3箇年の主な管理実績>

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
記念館利用者数	5757人	6451人	6776人
事業参加者数	6714人	23078人	16958人
指定管理料(市決算額)	2779万5486円	2648万655円	3743万436円
利用料金収入	72万1400円	140万2550円	106万8200円

<施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)>

	確認項目	確認欄	
業務の実施体制	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	<input type="checkbox"/> 有(更新) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	<input type="checkbox"/> 有(更新) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
	<評価におけるその他の視点> ・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など ・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(b~d)
	月1回の対面会議に加え、適宜連絡を取り、市との情報共有を行っている。人材育成では、事業担当、総務担当とも各専門分野への研修に参加し、業務の質の向上を図るとともに、喫緊の課題であるベテラン職員から若手職員への知識や技術の継承を引き続き進めた。令和4年度に導入した人事評価制度を活用し、組織の活性化につなげたほか、労務管理については、社会保険労務士の助言を得て規則等の整備を実施し、財政援助団体監査結果に基づく指摘事項についても是正を行った		b

評価の目安(b~d)

b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。

c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。

d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持管理	確認項目	確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 不具合等有(15件(うち対応15件)) <input type="checkbox"/> 無
	作品・資料の展示・保存環境の維持	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	備品の適切な管理(台帳との照合)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応, 感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括) 経年劣化による施設・設備の不具合が増加傾向にあるが、適宜、必要な修繕を実施し、令和5年度は11月28日から令和6年1月19日まで臨時休館し、市の照明設備改修に協力したほか、自動火災報知設備、排水ポンプ交換、防水補修等の改修を行い、利用者の安全性、快適性の維持を行っている。また、自主事業費により施設管理アドバイザーを委託し、施設の不具合状況の確認、対処方法や修繕の助言を得て、財団が実施する施設管理について問題解決に努めた。 そのほか隔年で実施している収蔵庫の燻蒸消毒を行い、作品・資料の良好な状態を確保し、保全に努めている。また、資料管理として作品の貸出等への対応や貴重な作品保全のための動産保険への加入手続きを行っている。	評価(a~d) <div style="text-align: center; font-size: 2em;">b</div>

評価の目安(a~d)

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え、先進的な対策の導入など、優れた安全対策や維持保全などが行われている。
- b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理、安全対策などをはじめ、施設の維持・管理が適切に実施されている。
- c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
- d: 施設の維持・管理について、抜本的に改善が必要なものがある。

サービスの提供	確認項目	確認欄
	計画した事業(サービス)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 一部未実施 <input type="checkbox"/> 多くが未実施
	利用者数の状況(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 前年比5%超減
	新たなサービス(事業)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容:夏休み自由研究サポートワークシート, 学童クラブへのワークショップ
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容:ボランティアガイドの実施回数増
	所蔵品の監理, 整理・保存と活用	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	<input checked="" type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 要改善
<評価におけるその他の視点> ・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供 ・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施 ・協定書等に基づく施設の開館日, 開館時間の遵守 ・利用申請等に対する迅速な対応 ・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供 ・苦情や要望等に対する適切・迅速な対応及び市への報告 ・施設の利便性向上・利用促進に関する取組・利用者満足度アンケート調査等の結果 など		

サービスの提供	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価(s~d)
	<p>講座事業においては、話題性のある講師を招き、対面と並行してオンライン(ライブ)配信での開催を行った。海外からの参加者もあり、着実に利用者の拡大を図っていることを評価する。ボランティア養成講座を開催し、登録者数を増やし、活動全般を充実させた。</p> <p>学校教育との連携においては、教材に使用できる自然観察動画を4本制作し、ホームページで公開した。そのほか例年、夏休み期間に児童・生徒向け「夏休み自由研究サポート」に新規メニューとして4種類のワークシートを作成、提供した。また、近隣学童クラブとの連携が進展し、年3回のプログラムを実施、児童から好評を得て、継続して実施をしていくこととした。これからの利用者となり得る子どもたちへの積極的なアプローチを行ったことを評価する。</p> <p>資料の状態維持・改善のために作品の修復等を行ったほか、オリジナルの資料の保存と展示公開の両立を図るため2点の複製を製作するなど資料の整理保存に努めた。</p> <p>展覧会や事業に合わせた図書の紹介など、資料利用のサービス充実に努め、特別閲覧では高度な質問や調査への対応も行うなど、利用者のニーズに合わせた丁寧な対応を評価する。</p> <p>利用者アンケートの満足度は(平均で70.6%)高く、受付・レファレンスの接客については、昨年度に比較し0.7ポイント上昇している。</p>	a

評価の目安(s~d)

- s: サービスの提供(施設利用、事業実施など)について、特に優れた実績がある。
- a: サービスの提供(施設利用、事業実施など)が適切に実施され、かつ、前年度実績を上回る実績が複数あるなど、優れた実績がある。
- b: サービスの提供について協定書等の内容に基づき、概ね適切に実施できている。
- c: サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され、一部改善を要する点がある。
- d: サービスの提供について、抜本的に改善が必要なものがある。

財務の状況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	
支出総額			<input type="checkbox"/> 計画比+5%超 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 計画比-5%超
	収入(指定管理料を除く)の状況(前年度比較)		<input type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input checked="" type="checkbox"/> 前年比5%超減)
	収入確保や経費縮減の取組		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 主な取組内容:電気料金補助の活用
	<p><評価におけるその他の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備) ・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施 など 		
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）		評価(s~d)
	<p>情報提供システム機器のリース料等の見直しや国による電気料金の助成を活用するなど経常経費の縮減に努め、支出総額では、計画比で3.9%の減と経費の縮減となったことは評価できる。利用料金収入については、前年度と比較して減額となっているものの、これは、令和4年度に発行された『実篤名言集』の売上によるものであり、利用料金収入自体は、計画比で6.8%増となっている。自主事業としては、新たに一部のミュージアムグッズのオンライン販売を開始し、自主財源の収益確保に努めた。令和5年度は、総資本に対する本業の利益率を示す「総資産当期経常増減率」が11.8%であり、効率的に利益を上げていると判断できる。</p>		a

評価の目安(s~d)

- s: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、特に優れた対応・実績が見られる。
- a: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、優れた対応・実績が見られる。
- b: 収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。
- c: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。
- d: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

その他	確認項目	確認欄
	地域等との連携による取組の実施	☑実施 ☐未実施 主な実施内容:桐朋学園大学「観梅のつどい」コンサート, 明治大学政経学部実篤公園ウォークラリー,
	地域貢献活動の実施	☑実施 ☐未実施 主な実施内容:せんがわ謎解き街めぐり, 武蔵野・ガーデン紀行の森の地図スタンプラリー, 市のふるさと納税, 若葉学校地区協議会
	<p>＜その他評価の視点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー, 省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など 	
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価(s～d)
<p>近隣地区と連携した回遊型事業は, デジタルと併用した武蔵野コッツウォルズの「むさしの・ガーデン紀行森の地図スタンプラリー」や仙川のセンイチボックスが主催した「せんがわ謎解き街めぐり」に参加した。「せんがわ謎解き街めぐり」では, 企画段階から協力し, 仙川の様々な施設や店舗をつなぐ地域連携ができたことにより, 実篤記念館の認知度を高め, 新たな利用者を獲得できたことを評価する。</p> <p>そのほか令和5年度は, 近隣学童クラブとの連携が進展し, 1年を通した事業を行い, 結果として今後も継続実施していくこととなった。地域の子どもたちにアプローチを行い, 継続的な連携事業に繋げていることを評価する。</p> <p>また, 若葉学校地区協議会の一員として防災訓練に参加するなど, 地域貢献を図った。</p>	a	

評価の目安(s～d)

- s: 4つの視点に関する取組以外に, 地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて, 特に優れた対応が見られる。
- a: 4つの視点に関する取組以外に, 地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて, 優れた対応が見られる。
- b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。
- c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。
- d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について, 抜本的に改善が必要なものがある。

<指定管理者における全体総括>

令和5年度は、館内設備改修に伴い、11月28日から令和6年1月19日まで臨時休館しましたが、市民が広く誇り得る文化の拠点として、実績と信頼を生かしながら、より良質で魅力のある事業を展開しました。

展示・普及事業では、2回の特別展と収蔵品による4回の企画展を開催し、講演会・講座等では話題性の高い講師を迎え、ライブ配信にも取り組むなど利用者層の拡大を図りました。また、ボランティア養成講座を開催したことで登録人数が増え、ガイドをはじめボランティアの活動全般を充実することができました。学校連携事業では、授業に利用できる動画4本を公開し、4年ぶりに実施された中学生の職場体験を受け入れました。また、学童クラブと年3回の事業プログラムを作り、連携をさらに進めました。地域連携では仙川地区の謎解き街巡りスタンプラリーに協力・参加し、広報事業では実篤公園のVR映像を新たに制作してホームページで公開したほか、X(旧ツイッター)を活用して事業や実篤関連情報などの魅力を発信しました。

情報公開事業では、現行の情報提供システムは稼働から18年が経過し、平成25年に更新した機器等の維持にも限界がきていることから、情報提供システムのリニューアルの検討を行い、運用面では情報の充実と現行機器の維持に努めました。さらに、国文学研究資料館の近代文学者草稿デジタル化プロジェクトに参画し、実篤記念館が所蔵する原稿のうち177点(3,838枚)のデジタル化を実施、令和6年5月に国文研が「国書データベース」でデータを公開しました。

施設管理運営事業では、開館から38年経過し、施設や設備の老朽化が進んでおり、令和5年度は排水ポンプ交換のほか各種設備改修を実施し、市が実施した照明設備改修工事に協力対応しました。また、隔年で実施している収蔵庫の燻蒸作業を行い、作品・資料の良好な状態の確保を図りました。さらに、実篤記念館の運営と実篤公園の日常管理を一体的に行うことにより、実篤公園を有効的に活用する事業を展開するなど、相乗的な魅力の向上を図りました。

自主事業ではミュージアムグッズ等物販事業において、新たにオンラインでの販売を開始して自主財源の確保と活用に努め、また、調布市のふるさと納税返礼品としてミュージアムグッズを提供しました。